



除夜の鐘

今年も残りわずかとなりました。今年1年は簡単に振り返っただけでも運動会やパリ日祭、宿泊体験学習、また、日本人学校ならではの現地校交流など様々な行事や活動で皆さんの成長を感じる素晴らしい年であったと思います。本当に頑張りました。ところで、大晦日の夜には、日本では多くのお寺で「除夜の鐘」と呼ばれる108つの鐘が鳴らされます。この108という数は、煩悩（ぼんのう）というものの数のことだそうです。人の心を悩ませたり乱したりする108の心の働きのことです。

それは、怒りや妬み、欲ばりな気持ち、落ち込みなど、誰の心にも自然に生まれてしまう心のありようで、私たち人間は一年を過ごす中で、「もっと欲しい」「あの人ばかりいる…」「許せない…」「どうせ自分なんて…」といった気持ちを抱えてしまうことがあります。

これは皆さんも、大人である私たちも同じです。除夜の鐘は、こうした気持ちを鐘の音とともに一つずつ手放し、新しい年を清らかな心で迎えようという願いを込めて鳴らされるそうです。

パリにいる皆さんは鐘の音をこの地で直に聞くことはありませんが、その代わりに、1年の締めくくりとして、1年間一緒に過ごした身近な人たちに「ありがとう」という感謝の言葉を伝えてはどうでしょうか。周りの人とのつながりの中で自分は活かされてされているのです。そう考えれば自分自身の心を整えることにもつながります。新しい年を迎えることを楽しみにしています。



今年1年パリ日本人学校の教育活動にご理解とご支援をいただきました保護者の皆様と関係機関の皆様に心よりお礼申し上げます。どうぞ良いお年をお迎えください。

終業式代表児童生徒の言葉

【3学期に向けて】

小学部3年 T.M

私が3学期で頑張りたいことは三つあります。

一つ目は学習です。私は算数の小数が苦手です。小数点の書き忘れなどのミスをなくして、なるべく短時間で計算ができるようにしたいと思います。

二つ目は持久走です。2学期の体育の授業で持久走をしたときに、2周目でつらくなってしまいました。もっと体力をつけたいと思いました。普段から走って遊ぶ機会を増やしたいです。

三つ目は音楽です。3年生で初めてリコーダーの吹き方を学びました。最初は簡単だと思っていましたが、低いドとレは指をたくさん押さえないといけないので、難しくてファの音を出すことができません。冬休みに家でもたくさん練習したいと思います。

3学期になったら今よりも勉強が難しくなるので、分からることをそのままにしないで、今よりも勉強にはげみたいです。そして、下級生にも優しくしてまわりから頼られる4年生になりたいです。



【もうすぐ中学生】

小学部6年 S.T

1学期、2学期を振り返って、僕の六年生の思い出についてお話しします。

ぼくの思い出一つ目は、運動会です。パリ日に来て、初めての大きな行事だったので、とてもワクワクしていました。運動会では、五年生との「こえろ、エッフェル塔」をチームで協力して、勝てたのがすごくうれしかったです。総合でもぼくたち赤組が優勝したので、とても心に残りました。

二つ目は、宿泊学習です。ロアール地方の古城をめぐったり、遊園地に行ったりしました。ホテルでもレクをしたり、部屋のメンバーなで遊んだりしたことも心に残っています。とても



充実して楽しい3日間でした。

ぼくは、もうすぐ卒業して中学生になります。中学生になるまでにがんばりたいことがあります。ぼくががんばりたいことは、ずばり、算数です。ぼくは、四年生・五年生の時、現地校に通っていました。だから、その時の算数を習っていないので、分かりません。でも、分からないうま中学生になるわけにもいきません。そこで、ぼくは、中学生になるまでに、小学校の算数を全部わかるようにしたいと考えています。

卒業まで時間はないですが、できることに一生懸命取り組んで、自信を持って中学生になりたいです。これで僕の発表を終わります。

最後にみなさん、メリークリスマス。

【2学期を振り返って】

中学部3年 M.Y

みなさん、こんにちは。この2学期、全部で何日間あったか覚えていますか？正解は、80日です。長いやうで短い2学期も今日で終わります。2学期はパリ日祭、現地校交流、中学生は定期テストとたくさんの行事がありました。私にとってはあつという間でありますながら、思い出深い学期となりました。特に記憶に残ったのは、パリ祭劇「魔女の宅急便」でした。中学部全員で一体となりひとつひとつ丁寧に全ての工程を作り上げました。その工程の中でも私がひとり驚いたのは、大道具などを準備している時に、みんなが、普段かかわらない人とも一生懸命協力をしている姿でした。その瞬間、日本とフランスくらい遠く離れていた心の距離が、一気に縮まったと実感しました。

本番ではもちろん大成功を収め、最高の仲間と最高の達成感を得ることができました。この感動的な経験は、今の中学部のメンバーはもちろん、先生方の手厚いサポートがあったからこそ、想像以上のものを実現できたと思います。さて、まもなく私たち

は冬休みを迎えます。この2学期で手に入れたことができた成功体験、そして失敗から学んだことを最大限に生かし、さらなる次へのステップを歩みます。このあと、3年生はそれぞれの自分の道を拓くために、受験で一時帰国をしたり、パリに残って3学期をパリ日で過ごしたりする人と分かれます。必ず、手にした希望を携え、卒業式で、また会いましょう。

パリ日で過ごせる期間は残りわずかですが、1日1日を大切にして、全ての思い出、何気ない日常生活を自分の胸奥深くに刻みます。



現地校交流学習

～見事なリードで活動充実～

【小学部】

11月28日に小学部5・6年生がセットマール高校の日本語コースを選択している高校生のみなさんと交流活動を行いました。本校の児童が企画した昔の日本の遊びの紹介やレクレーションまたおもてなし茶話会などを行い交流を深めました。

小学部のみなさんが上手なリードをし、で日本に興味を持つ高校生にとってもパリ日の子供たちにとっても異文化に触れる良い時間となりました。

【中学部】

11月19日中学部



の生徒が、サンシャルル・ノートルダム中学校と交流活動を行いました。長縄大会・カレー作りと一緒に行った後、交流校の生徒の毛筆体験をパリ日生が先生役をして手伝いました。笑顔溢れる活動となりました。2月にはパリ日生がサンシャルル・ノートルダム中学校を訪問する予定です。

働くってどういうこと…

～中学部職場体験学習～

キャリア学習の一環として、ほとんどの日本の中学校がとりくんでいる職場体験学習を実施いたしました。フランスの中学校でもインターンとして1週間程度取り組んでおり、現在本校でも現地の生徒を受け入れております。

自分がなりたい職業の見学という意味では



なく、現場で働いていらっしゃる方から「勤労観」についてお話しをいただきましたことをねらいとしました。11か所の事業所様にご理解をいただき実りある活動となりました。ご協力いただきました事業所の皆様に心よりお礼申し上げます。



芸術の都パリならでは！ ～美術館見学～

各学年、いろいろな美術館を見学しました。芸術の都パリならではの大切な活動と考えております。事前に学んだ各美術館の代表的な絵画・彫刻を探したり、模写をしたりと工夫された見学ができました。一生懸命スケッチする姿に他のお客様からお褒めの言葉をいただくこともありました。

子どもたちには本当にたくさんの作品との出会いがあります。「自分の好きな作品を見つけること」が鑑賞の第一歩なのかなと思います。パリに学校があるという恵まれた環境を今後も生かしていきたいと思います。



ご来校ありがとうございました ～土曜参観日～

11月22日に土曜参観日が行われました。多くの保護者の皆様にご来校いただきましてありがとうございました。授業を参観していただいたり、中には共に活動していただいた授業もありました。子どもたちも自分たちのがんばっている姿を見てもらおうと普段に増して張り切っている様子が見て取れました。

参観の後の全体会では来年度の教育計画について説明させていただきました。今後は学校評価アンケートでいただいた評価とご意見を真摯に受け止め来年度に活かしてまいりたいと思います。



1月の主な活動予定

月	日	主な活動
1	5	始業式
	6	書き初め会
	7	創育模試（中学部1, 2年）
	8	中学部武道～15日
	16	避難訓練
	21	小学部6年UNESCO見学
	23	就学児童体験入学
	25	第3回英語検定一次
	28	小学部5年放送局見学
	30	新入生説明会 小学部5・6年現地校交流

